

I. 広東省

1. 胡春華・省党書記が貴州省、雲南省、広西チワン族自治区を視察

●3日～4日、胡春華・省党書記が貴州省、雲南省、広西チワン族自治区を訪れ、中国東部・西部のマッチングによる貧困救済協力の状況を視察。胡書記は、習近平・総書記が同業務の座談会で述べた重要講話の精神を深く貫徹・実行しなければならない、同業務の強化に関する全国会議の手配・要求に基づき、広東省と貴州省、雲南省、広西チワン族自治区の貧困救済協力を全面的にマッチングさせ、中央が広東省に与えたペアリング支援の任務を断固として完成させるよう強調（9月5日付『南方日報』）。

2. 朱小丹・省長がケニアを訪問

●現地時間2日～4日、朱小丹・省長率いる省政府代表団がケニアを友好訪問し、中国とケニアのウィンウィン協力を深めた。朱省長はナイロビでそれぞれケニア大統領府長官、労働・東アフリカ業務相、教育相と会談し、2016年中国（広東）・ケニア経済・貿易協力交流会に出席し、基調講演を行なった（9月6日付『南方日報』）。

●現地時間2日、上記交流会で8つのプロジェクト及び協定が成立し、契約総額は2.4億米ドルだった。130数社の中国企業、250社以上のケニア企業が交流会に参加。ケニア投資局、中国交通建設株式会社、ケニア-広東総商会等がケニアにおける投資の提案と経験を共有した（9月7日付『南方日報』）。

3. 南アフリカ大統領、ベナン大統領が広東省を訪問

●省政府、国家開発銀行、世界銀行の招きを受けて、6日～9日の日程で、上記両大統領が広東省を訪問し、第2回アフリカ投資フォーラムに出席（9月6日付『南方日報』）。

●6日午後、胡春華・省党書記がズマ・南アフリカ大統領と会談。在中国南アフリカ大使、張明・外交部副部長等も同席。2015年、広東省と南アフリカの貿易総額は約177億米ドルで、中国の対南アフリカ貿易全体の約40%を占めた（9月7日付『南方日報』）。

●7日、広州市で上記フォーラムが開催され、馬凱・副総理が開幕式に出席し挨拶。胡春華・省党書記、ズマ・南アフリカ大統領、タロン・ベナン大統領、ジム・ヨン・キム世界銀行総裁をはじめ、計300数人が同フォーラムに出席（9月8日付『南方日報』）。

●8日晚、朱小丹・省長がエチオピア首相特別顧問一行と懇談し、双方の協力を深め、実務的な友好交流を行なった。何忠友・副省長も同席（9月9日付『南方日報』）。

4. 胡春華・省党書記が中央の視察・検査チーム一行と会談

●6日午後、胡春華・省党書記が周波・香港・マカオ事務弁公室副主任を団長とする中央統一戦線工作指導チーム一行と会談。胡書記は、広東省は統一戦線工作を非常に重視しており、中央の要求に基づき、各工作・任務を真剣に達成し、統一戦線工作の大きな枠組を構築するよう努力していると述べ、引き続き指導・サポートの強化を要望（9月7日付『南方日報』）。

5. 朱小丹・省長がヌル・ベクリ国家発展改革委員会副主任兼国家エネルギー局長と会談

●6日晚、朱小丹・省長が第2回アフリカ投資フォーラムに出席し、併せてエネルギー発展業務を視察するため広東省を訪れた国家発展改革委員会副主任と会談。朱省長は、エネルギー構造の最適化は広東経済の産業の転換・高度化にとって、十分重要な役割を持っていると指摘。国家発展改革委員会、国家エネルギー局にはこれまでどおり同省のエネルギー業務を重視し、火力発電所、原子力発電所、太陽光発電所等のエネルギー事業やエネルギー消費量の調整等においてサポートしてもらえよう要望（9月7日付『南方日報』）。

6. 朱小丹・省長が胡懷邦・国家開発銀行総裁一行と座談会を開催

●6日午後、上記座談会で広東省政府と国家開発銀行が開発事業における金融協力覚書に署名。藍

仏安・副省長，周清玉・国家開発銀行頭取も同席（9月7日付『南方日報』）。

7. 馬凱・副総理が広東省を視察

●先頃，馬凱・副総理が広東省を訪れ，次のように強調した。「中国製造2025」を深く実行する必要がある。次世代情報技術と製造業の融合をメイン・ストリームとし，スマート製造に重点を置き，製造業のデータ化，ネットワーク化，スマート化の発展に力を入れ，急いでメイド・イン・チャイナの新たな競争力を作り出していかなければならない。胡春華・省党書記，朱小丹・省長も視察に同行（9月9日付『南方日報』）。

8. 広東・国際観光博覧会が開幕

●8日午前，上記博覧会が開幕し，併せて2016年広東省海外観光協力推進センター交流年次総会が開催された。米国，カナダ，英国，ドイツ，スペイン，オーストリア，豪州，NZ，太平洋諸国，韓国，日本，シンガポール，マレーシア，タイに駐在する広東省観光協力推進センターの責任者が参加し，海外における広東観光のPR活動について提案を行なった（9月9日付『南方日報』）。

●10日午前，朱小丹・省長，何忠友・副省長が上記博覧会の観光交通館，「観光プラス」テーマ館，観光商品，老舗館等のブース等を視察。本博覧会には50以上の国と地域，国内20以上の姉妹省・市，省内21の地級市，旅行会社21社等が参加（9月11日付『南方日報』）。

9. 全省党校工作会议の開催

●9日午後，朱小丹・省長主宰の上記会議が開催され，現在及び今後の広東省の党校工作について検討し手配。胡春華・省党書記が講話を行い，習近平・総書記の重要講話，全国党校工作会议の精神を貫徹・実行し，党校工作は徹頭徹尾，少しの揺るぎもなく中国共産党を姓とすることを全面的に貫き，同省の党校工作を更に強化・改善しなければならないと強調（9月10日付『南方日報』）。

10. 朱小丹・省長がカナダ・ノバスコシア州知事一行と会談

●9日晚，上記会談で朱小丹・省長は，航空産業，海洋経済，生命科学，バイオ医薬，先進設備製造業，ハイテク産業等の分野で交流・協力を強化していきたいと伝えた（9月10日付『南方日報』）。

11. 朱小丹・省長が南アフリカ・クワズール・ナタール州執行委員と会談

●9日午後，上記会談で朱小丹・省長は，クワズール・ナタール州執行委員が提示した重点協力項目に対し積極的に回答。中国-アフリカ関係を発展させる歴史的な機会をしっかりとつかみ，更に緊密で効果的な協調メカニズムを構築し，両地域の政府関連部門が業務の連合チームを構築し，インタラクティブな交流プラットフォームを築き，具体的なアクションプランを制定し，自動車製造，情報通信，観光，教育，農業等の分野における実務的な協力を積極的に推進し，直行便運航の推進をサポートし，相互に利益のある協力関係とウィンウィン状態の実現による発展で素晴らしい未来を共に作り出していく（9月10日付『南方日報』）。

12. 朱小丹・省長が大村秀章・愛知県知事一行と会談

●9日午前，上記会談で朱小丹・省長は次のように提案した。双方は引き続き経済・貿易・投資面での協力を強化し，先進製造業（特に自動車生産，スマート製造等）の分野における協力を深く推進し，日本の先進的な技術及び管理の経験を導入する。より多くの日本のサービス企業に広東自貿区を視察してもらい，金融，保険，物流等の生産的サービス業，「インターネット・プラス」の新業態を発展させていく。人文・観光交流における協力を推進し，観光協力メカニズムを整備し，観光ブランド路線を共同で構築していく。青少年の交流を深く推進し，両地域の友好・友情を伝承・発展させ，友好交流協力の新たな1ページを開く（9月10日付『南方日報』）。

●9日，何忠友・副省長が大村秀章・愛知県知事とともに愛知県経済・観光交流会に出席。何副省長は，広東省はこれまでも対日協力の展開を重視しており，経済・貿易，観光交流における関係が日本と同省の最も重要な関係の1つであると指摘。現在，同省は経済発展のニューノーマル状態に積極的に適応し，それを牽引しているところであり，供給構造改革に取り組み，産業の転換・高度化を加速化させる重要な段階にあり，科学技術イノベーション，社会管理，経済発展，都市化，環

境保護等の分野における愛知県との協力にも、より多くのチャンスが到来し、観光、人文、スポーツ、青少年交流の分野でも前途が開けている。何副省长は、同省と愛知県が共に努力し、両地域の各分野における広範な交流や実務レベルの協力を引き続き推進していくと表明（9月10日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. [広州市代表団が南アフリカ、エチオピア、ケニアを訪問](#)

●8月27日～9月6日、黎明・副市長率いる広州市代表団が上記3か国を訪問し、一連の経済・貿易イベントを展開した。陶器製造工場、大豆調達、ホテル用品製造工場等、6つのプロジェクトがその場で契約され、総投資額は2.6億米ドルに達した（9月6日付『広州日報』）。

2. [市供給構造改革業務推進会の開催](#)

●6日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、広州市が創新駆動発展を急ぎ、供給構造改革を推進するための更なる手配が行なわれた（9月7日付『広州日報』）。

3. [任学鋒・市党書記が何志敏・国家知的財産権局副局長一行と会談](#)

●6日、上記会談で任学鋒・市党書記は、広州市が知的財産権に強い市を建設していくためのサポートを要望（9月7日付『広州日報』）。

4. [市党常務委員会議の開催](#)

●7日、任学鋒・市党書記主宰の上記会議で、「発展の新たな理念を定着させ、“三農”業務を強化していくことに関する意見」等について審議し採択（9月8日付『広州日報』）。

5. [市政府常務会議の開催](#)

●温国輝・市長はスケジュールに基づき、中央党校で学習しているため、温市長の委託を受けた欧陽衛民・副市長主宰の上記会議が先頃開催され、「広州市2015年度市予算執行・その他財政収支の会計検査業務報告」等について審議し採択（9月8日付『広州日報』）。

III. 深圳市

1. [馬興瑞・市党書記一行が広西チワン族自治区を視察](#)

●2日～4日、馬興瑞・市党書記率いる市党・政府代表団が広西チワン族自治区百色市、河池市を訪れ、貧困脱出・克服業務を学習・視察し、広西・広東貧困救済協力業務連絡会議に出席。併せて、中国工農紅軍第7軍本部跡の粵東会館、百色一揆記念館を見学し献花。鄧小平等、先達のプロレタリアート革命家の偉大な功績を深く偲んだ（9月5日付『深圳特区報』）。

2. [第6期市政協第7回常務委員会議の開催](#)

●2日午後、戴北方・市政協主席主宰の上記会議が開催され、「供給構造改革」をテーマに協議。招待を受けた許勤・市長が出席し講話（9月5日付『深圳特区報』）。

3. [董建華・全国政協副主席が深圳市を視察](#)

●5～6日、董建華・全国政協副主席が深圳市を視察し、馬興瑞・市党書記、戴北方・市政協主席が関連行事に同行。期間中、董副主席と団結香港基金のメンバーは、ファーウェイ、DJI、前海深圳・香港現代サービス業協力区、観瀾湖工藝品工房・文化・クリエイティブ・コンプレックス、香港中文大学深圳キャンパス、華大遺伝子研究院、林順潮眼科医院を視察し、同市の科学技術イノベーション、文化産業、高等教育等の分野について理解を深めるとともに、深圳と香港の協力を更に推進すべく、企業の責任者や科学技研員と懇談した（9月7日付『深圳特区報』）。

4. [寧吉哲・国家統計局長一行が深圳市を視察](#)

●7日～8日、寧吉哲・国家統計局長一行が深圳市を訪れ、現在の経済動向、統計調査の業務状況について視察。馬興瑞・市党書記が視察に同行（9月9日付『深圳特区報』）。

5. 中央の視察・検査チームが深圳市を視察

● 8日、中央統一戦線工作指導グループメンバーの周波・香港・マカオ事務弁公室副主任率いる第14視察・検査チームが深圳市を訪れ、統一戦線工作を視察し、実地調査を実施。馬興瑞・市党書記が同チーム一行と会談。林潔・市統一戦線部長が市党委員会を代表し、深圳市が中央の統一戦線に関する一連の重要政策を貫徹・実行している工作状況について全面的な報告を行なった（9月9日付『深圳特区報』）。

6. 馬興瑞・市党書記が国連食糧農業機関（FAO）事務局長補一行と会談

● 10日午後、上記会談で馬興瑞・市党書記は、双方が協力の新たなモデルを積極的に検討し、国際機関の建設、農業人材の育成、食品安全等の分野で協力を強化し（特に深圳市における国際的な品種改良のプラットフォームの構築）、より国際競争力を備えた科学的農業を共に築いていきたいと伝えた（9月11日付『深圳特区報』）。

7. 許勤・市長がバーレーン、英国を訪問

● 4日～9日、許勤・市長率いる深圳代表団がバーレーン、英国を友好訪問し、習近平・国家主席とバーレーン、英国の指導者が合意した重要なコンセンサスと「一帯一路」重要戦略を貫徹・実行に移した。馬興瑞・市党書記の手配・要求に基づき、積極的な交流と実務的な協力による地方間の友好的な往来に力を入れ、中国が中東・湾岸諸国との協力関係を強化するため積極的に努め、また中英両国の21世紀に向けたグローバルな全面的戦略パートナーシップを更にハイレベルな状態へと推し進めていくとした（9月11日付『深圳特区報』）。